



2024年6月10日

各位

会社名 ミアヘルサホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 青木 文恵
(コード番号：7129 東証スタンダード市場)
問合せ先 財務・企画担当取締役 高橋 雅彦
(TEL 03-3341-7205)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年11月15日に、「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」（以下、「当初計画」という。）を提出し、その内容について開示しております。さらに、2023年6月8日には「当初計画」の進捗状況と「当初計画」の更新に関する「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況及び計画の更新について」（以下「変更計画」という。）を開示いたしました。2024年3月末時点における計画の進捗状況について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2024年3月末時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、その推移を含め以下のとおりとなっており、流通株式時価総額について基準を充たしておりません。当社は、2026年3月末までに上場維持基準を充たすために、引き続き各種取組を進めてまいります。

【当社の上場維持基準への適合状況】

		株主数	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の適合状況及びその推移	移行基準日時点 2021年6月30日	1,374人	7,047単位	8.1億円	28.4%
	前回基準日時点 2023年3月31日	1,944人	7,414単位	7.4億円	29.7%
	2024年3月31日 時点	2,338人	8,314単位	8.5億円	32.8%
上場維持基準		400人	2,000単位	10億円	25.0%
2024年3月31日時点の状況		適合	適合	不適合	適合
計画期間		—	—	2026年3月末	—

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価（2023年4月～2024年3月）

当社は、2023年6月8日に公表した「変更計画」に基づき、スタンダード市場の上場維持基準の適合に向け、以下のとおり取組を進めております。

【流通株式時価総額】について

(1) 流通株式数の増加

①第6回新株予約権の新規発行と権利行使

「第三者割当により発行される第6回新株予約権の発行及びコミットメント条項付き第三者割当契約の締結に関するお知らせ」(2023年8月18日適時開示)のとおり、2023年9月4日付で第6回新株予約権を機関投資家であるマイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社(以下、「マイルストーン社」という。)に対して新規発行しております(潜在株式数300,000株、行使価額1株当たり1,000円)。当該新株予約権の権利行使により、2024年3月末時点で流通株式数が35,000株増加しております。

なお、マイルストーン社は、株式会社スリーユ(当社取締役会長の資産管理会社)との間で、2023年8月23日から2025年9月3日までの期間において当社株式50,000株を借り受ける株式貸借契約を締結しており、これによる流通株式数の増加があります。

②ストック・オプションの従業員行使

当社役職員向けに過去発行したストック・オプションについて、従業員の権利行使による株式発行により、2024年3月末時点で流通株式数が3,600株増加しております。

③当社取締役会長の保有株式の市場流通

大株主である当社取締役会長の青木勇が保有する当社株式について、有価証券処分信託(AMT)を2023年3月末までに2回行っており、合計で100,900株の市場流通を行ってきました。2024年3月期の新規信託契約の設定、市場流通はありません。

(2) 株式の流動性(出来高)向上

①IR活動の推進・強化、投資者向けの情報発信の充実

IR活動を充実させることにより、当社の認知度の向上と、当社株式の出来高の向上を図っております。これまでに、四半期決算の説明資料・動画の開示、対面での個人投資家向けIR説明会、および機関投資家向け決算説明会(WEBセミナー)の開催を行ってまいりました。出来高の実績としては、1日あたり平均出来高が、2023年1~3月の2,235株に対し、2024年1~3月は2,405株となり、170株増加しております。

②株主優待(株主還元)

2022年より、当社株式の投資魅力を高めることでより多くの株主に中長期的に保有していただくことを目的に、新たな株主優待制度を導入しております(2022年6月8日適時開示)。結果、単元株主数は、2023年3月末現在の1,944人に対し、2024年3月末現在2,338人となり、394人増加しております(前期比+20.3%)。

なお、現金配当につきましても、2022年6月8日付で開示した修正版中期経営計画記載の株主還元方針に則り、年間30円の安定的な配当を継続しております。

(3) 企業価値の向上

「少子高齢化社会の課題に挑戦し、地域社会を明るく元気にする」というミッションのもと、中期経営計画達成に向けた着実な業績拡大と成長に向けた投資を両立し、企業価値の向上を図ってまいりました。

2021年10月20日付でライフサポート株式会社が当社グループに加わったことにより、当社グループの保育事業の成長促進と子育て支援分野の拡充が実現しております。

2024年3月期の業績については、売上高22,722百万円、経常利益374百万円と、ともに過去最高となりました。一方、介護事業においては、2023年8月に千葉県流山市に開設した「ホスピス対応型ホーム(定員61名)」の先行コストの発生等により、セグメント利益は赤字となりました。また、介護事業に係る減損損失256百万円を計上するなど、特別損失の発生により、親会社株主に帰属する当期純利益は5百万円となりました。企業価値向上のうえで、介護事業の利益改善が目下の課題となっております。

3. 上場維持基準に適合していない項目ごとのこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取組内容

【流通株式時価総額】について

(1) 流通株式数の増加

①第6回新株予約権の権利行使

マイルストーン社へ発行した第6回新株予約権について、2024年3月末現在、265,000株（発行済株式総数の10.5%）が未行使であります。2025年9月3日までの権利行使期間において、行使しやすい環境を整えることにより、流通株式数の増加を図ってまいります。

②ストック・オプションの従業員行使

当社役職員向けに過去発行したストック・オプションについて、2024年3月末現在、11,700株（発行済株式総数の0.5%）が未行使であります。従業員へ権利行使を引き続き推奨することにより、流通株式数の増加を図ってまいります。

③当社取締役会長の保有株式の市場流通

大株主である当社取締役会長の青木勇が保有する当社株式について、必要に応じて有価証券処分信託（AMT）の段階的实施を行うことにより、市場流通を進めてまいります。

(2) 株式の流動性（出来高）向上

①IR活動の推進・強化、投資者向けの情報発信の充実

IR活動を充実させることにより、新たな投資家を呼び込むことで、出来高の向上を目指してまいります。四半期決算開示後のタイミングを基本に、複数媒体での定期的な会社説明会・決算説明会を開催し、適時適切な情報開示を行うとともに、当社の魅力を継続的に発信してまいります。

②株主優待（株主還元）

個人投資家の取引活性化に向け、2022年に導入した株主優待制度を継続し、更なる拡充を検討してまいります。

なお、現金配当につきましても、成長投資と安定経営に向けた自己資本の充実を図りつつ、株主還元方針に則り、年間30円以上の安定的な配当を継続していく予定です。

(3) 企業価値の向上

当社は、本日2024年6月10日付で、次期中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）を開示いたしました。「子どもから高齢者まで全世代が繋がり、お互いを支え合う地域づくりに貢献する」をパーパスとして新たに掲げ、「少子高齢化社会の課題に挑戦し、地域社会を明るく元気にする」というミッションのもと、中期経営計画達成に向けた着実な業績拡大と成長に向けた投資を両立し、企業価値の向上を図ってまいります。具体的には、中期経営計画の重点施策である、事業間の連携によるシナジーを差別化策とした地域包括ケアシステムの推進、および効率運営と収益性を重視したアセットライトな投資を進めてまいります。

課題である介護事業の利益改善については、介護事業における営業活動の強化により、具体的には既存のサービス付き高齢者向け住宅・ホスピスの入居率の維持・向上と併設事業所の稼働率向上、流山市のホスピス対応型ホームの早期収益化を図ります。

これにより、2025年3月期の業績予想である売上高22,900百万円、営業利益490百万円、経常利益480百万円、親会社株主に帰属する当期純利益290百万円の着実な達成を図ってまいります。

また、2024年4月1日付で当社連結子会社のミアヘルサ株式会社とライフサポート株式会社が合併したことを機に、当社グループの子育て支援分野をさらに拡充し、事業シナジーをより一層発揮することで、当社グループ全体の企業価値向上につなげてまいります。

以上